

子育て応援BOOK



こそだてえほん

「こそだて」ってなんだろう？これでいいのかな？正解がないからこそ悩むことがあると思います。本書では、好きを応援する、いまを楽しむ、相談しがいい存在である、といった子育ての軸となる、覚えておきたい42の習慣を紹介しています。子育てを通じ、親子で一緒に成長できるきっかけがきっと見つかるはずです。

高濱 正伸／監修
林 ユミ／絵
日本図書センター
(美容・健康／139)

なんとかする工作

なんとかする工作

子どもは今の気分や、やりたいことにとても真っすぐです。「台風の翌日を楽しんで」「遊ぶものがない」「ぬいぐるみのベビーカー欲しい」といった思いもよらない突然のリクエストを「なんとかした」父のアイデアを紹介しています。コミュニケーションの方法としても参考になります。

青木 亮作／著
玄光社
(美容・健康／142)

その他おすすめリスト



パパになったあなたへの25章
シアーズ博士夫妻ジュニアから新米パパへの子育てエール
ロバート・シアーズ、ジェームス・シアーズ／共著
ウィリアム・シアーズ／監修 竹内 正人／日本語版監修 岩井 満理／訳
主婦の友社 (美容・健康／141)

父親になろうとしている人、なりたての人の心強い味方となってくれる考え方が学べます。

0～4歳わが子の発達に合わせた1日30分間「語りかけ」育児

サリー・ワード／著 汐見 穂幸／監修 横 朝子／訳 小学館 (美容・健康／136)

子どもと楽しむ外遊び

幼児から小学校低学年までの自然をとことん楽しむための方法を教えます
長谷部 雅一／監修 地球丸 (スポーツ・アウトドア／099)

子どものまんぷくごはん

パパでもできる、3ステップのワンプレートレシピ
コウケンテツ／著 家の光協会 (料理／038)

夫は犬だと思えばいい。

高濱 正伸／著 集英社 (社会／016)

おはなし会日程

会場	読み手	時間	
多賀城市立図書館	図書館スタッフ	第1水曜日 (赤ちゃんおはなし会) (1月はお休み)	11:00 - 11:30
		毎週土曜日	14:00 - 14:30
	スキップ♪	第3水曜日	11:00 - 11:30
	山王スキップ♪	第4水曜日	11:00 - 11:30
山王分室	山王スキップ♪	第2木曜日 (1月はお休み)	11:15 - 11:45
大代分室	カンガルー読書会	第2・4水曜日 (2月12日はお休み)	10:30 - 11:30
多賀城市子育てサポートセンター	図書館スタッフ	第3金曜日 (3月はお休み)	14:00 - 14:30

お子様向けのイベントも開催しております。
詳細は図書館サイトまたは公式SNSをご覧ください。



多賀城市立図書館
TAGAJO CITY LIBRARY

[本館] 多賀城市中央2-4-3 多賀駅北ビルA棟
開 09:00 - 21:30 休 年中無休
Tel 022-368-6226
HP <https://tagajo.city-library.jp>

[分室] 山王地区公民館内／大代地区公民館内
開 11:00 - 17:00 (12:30 - 13:30 昼休憩)
休 月曜日、休日の翌日、年末年始、その他公民館の休館日、特別整理期間
Tel 山王分室: 022-368-6212 / 大代分室: 022-364-8447

多賀城市立図書館 未就学児の保護者向け読書案内

うさちゃんだより

2024 - 2025
冬春号
多賀城市立図書館

今年巳年です。復活と再生の年、新しいことが始まる年と言われ、様々な分野での躍進や発展に期待が膨らみます。さて、親御さんは何かと忙しい毎日だと思いますが、家族でのお出かけも、この時期の必須行事になっているのではないのでしょうか。ここでちょっと気分を変えて、子どものペースに合わせ過ぎず、子どもの要求にすべて応じるのではない、特別ではない日常の体験や経験を大切に過ごしてはみてはいかがでしょうか。読み聞かせをしたり、一緒に家事を試してみたり、地域の行事に参加したり、散歩や近くの公園で遊んだり。遠くに出かけなくても、多様な楽しみ方があります。肝心なのは、家族の会話やコミュニケーションではないかと考えます。

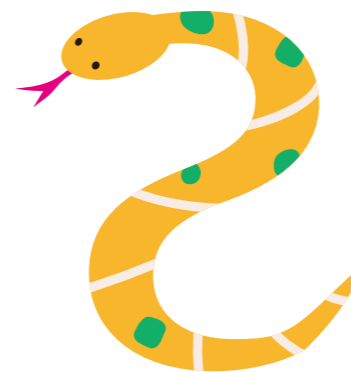
親は忙しいです。忙しいという言葉は「心を亡くす」と書きますが、時間を生み出し、心に余裕を持つことは大変です。それでも、親子で身近な体験を共にすることが対話を生み出し、親子の愛情や信頼関係を深めることにつながり、家族の幸福度が増すものと思います。

ご家族の幸せのために、ささやかではありますが、本年も心落ち着く環境と心地良い雰囲気を提供してまいります。

館長

おしょうがつクイズ! これな～んだ?

①



ヒント

2025ねんの「えと」は、このどうぶつ!

②



ヒント

おどったり あたまをかんだりするよ!



テーマ「ぼうけん」

皆、いってくるよ!



ぼく、いってくる!

マチュー・モデ / 作
ふしみみさを / 訳
光村教育図書
(あかちゃん絵本 / 057)

ことりのぼうやは「いってくる!」と決心して巣から飛び出しました。家族や友達、ぼうやに懐中電灯やおやつなどを持たせて励ましながら見送ります。さて、ことりのぼうやが行きたかった場所とはどこだったのでしょうか。ページをめくるたびに、ぼうやの持ち物が増えていく姿がユニークな絵本です。

いたいのいたいの、どこいった?



いたいのいたいのとんでけ

平出 衛 / さく
福音館書店
(あかちゃん絵本 / 057)

「いたいのいたいのとんでけ」は、誰もが一度は耳にしたことがあるおまじないではないでしょうか。では、「とんでいったいたいの」はどこに行ってしまったのでしょうか。盛り上がった地面の中や、雨を降らせる雲の中など、自由に想像するこいぬくんと一緒に「とんでいったいたいの」を探る冒険に出てみましょう。

子どもだってストレス発散!?



スナックこども

令丈 ヒロ子 / さく
まつなが もえ / え
理論社
(やさしいよみもの / 069)

お母さんに怒られて、モヤモヤして眠れないゆのん。「こんなときには、あそこに行くしかない」と、ベッドの下にもぐりこんで向かった先は……。「スナックこども」には、日頃のストレスを発散しよう子どもたちが集まっています。大人に対する子どもの本音を、ちょっと覗いてみませんか?

森の中はドキドキでいっぱい!



山のトントン

やえがし なおこ / 作
松成 真理子 / 絵
講談社
(やさしいよみもの / 069)

山のふもとに、トントンというくまの男の子が住んでいました。ある日、お兄ちゃんのブルブルとけんかをしていると、帰ってきたお父さんに怒られて二人とも外に追い出されてしまいました。外で栗の実を集めたり、木の枝でベッドを作って遊んだりする二人でしたが、だんだん夜が近づいてきます。兄弟の温かさを感じられるお話です。

小さな木の実たちの大きな冒険



ドングリ・ドングラ

コマヤスカン / 作
くもん出版
(国内絵本 / 062)

主人公はいろんな顔のドングリたち。島に緑を取り戻すため、仲間たちと一緒に出発します。かわいいリスも、ドングリたちから見れば恐ろしい敵。荒れた海や冬の雪にも負けず、ようやく辿り着いた遠くの島で、ドングリたちがとった行動は……。くすくすと笑って最後はびっくり。ドングリたちの豊かな表情を見るのも楽しい一冊です。

ワクワクを作っちゃおう!



ほうきぼしのまほう

ジョー・トッド・スタントン / さく
まつかわまゆみ / やく
評論社
(海外絵本 / 063)

ある事情で街に引っ越してきたナイラ。新しい環境に馴染めずいたある日、窓の外に「楽しかったときのおうち」でいつも見ていたほうきぼしを見つけました。飛び出して追いかけて、追いついた時「まほう」が始まります。工夫された時間経過の見せ方や幻想的な絵が、読み終わった時に心を温かく前向きにしてくれます。

強くてかっこいい女性の爽快なお話



ちからもちのおかね 日本のおはなし

中脇 初枝 / 再話
伊野 孝行 / 絵
偕成社
(国内のむかしばなし絵本 / 060)

昔話に出てくる女の子は、大人しくてかよわいお姫様ばかりではありません。おかねさんは、3歳の時には力比べで相撲取りに恐れられ、お殿様には「天下御免」と認められ、猟師となったら凄腕の鉄砲で化け物退治、山を駆けて夫を助けに行きます。そんなかっこいい女性の爽快な昔話、おすすめです。

「世界一まぬけ」と言われた若者の痛快なお話



空とぶ船とゆかいななかま ウクライナのむかしばなし

バレリー・ゴルバチョフ / 再話・絵
こだまともこ / 訳
光村教育図書
(海外のむかしばなし絵本 / 061)

「空飛ぶ船を持ってきた者を王女の婿にする」という王様のおふれを知って、世界一まぬけと言われた若者が旅に出ました。船を手に入れることができ、出会った不思議な人々と一緒にお城に乗り込みますが、王様はまぬけな若者が婿になるなどんでもないと無理難題をふっかけ……。若者の素直な人柄が幸運を呼び込む、痛快なお話です。

動物たちはどうやって生きている?



動物たちは、冒険家! 地球を旅する生きもの不思議

キム・トマス / 文
フリオ・アントニオ・プラスコ / 絵
宇野 和美 / 訳
河出書房新社
(知識絵本 / 001)

動物たちは世界を旅する冒険の先輩です。では、なぜ動物たちは命がけで長距離移動をするのでしょうか。この本では地上の動物から海の生きものまで、興味深い生態を大きな絵で学ぶことができます。身近にいる動物から観察してみると、初めての発見があるかもしれません。

今日はなにをする?



きょうがはじまる

ジュリー・モースタッド / 作
石津 ちひろ / 訳
BL出版
(海外絵本 / 063)

絵本を開くと新しい一日が始まります。子どもたちは今日したいことを考え、服装や食べたい物などたくさんの選択をしていきます。一人ひとりに違った過ごし方があることが学べ、読み返した時にも、今度はこれをしてみようという想像が広がります。家族での休日に、この絵本を読んで過ごすのも楽しい記憶になるでしょう。



ブックスタートを実施しています!

ブックスタートとは、3~4か月児健診の機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを「すべての赤ちゃん」にお届けします。多賀城市では令和4年度からスタートしました。

絵本は赤ちゃんや保護者の方が好きなときに開いて、親子のふれあいや絵本を通じてのコミュニケーションを楽しんでいただきたいです。

※多賀城市のブックスタート事業には、東北電機製造株式会社様のご協力をいただいております。



『うさちゃんマーク』の本について

キッズライブラリーには、赤ちゃんや小さいお子様におすすめの絵本があります。絵本には2種類の「うさちゃんマーク」がついています。ぜひ、お子様と一緒に読んでください。



あかちゃんと一緒に はじめて読む絵本



たくさんのお子様に愛され、読みつがれた33冊の絵本